

訪問リハビリテーション通信

第44号

出版責任者

訪問リハビリ
テーション振興
委員会

“絆”きずな

事業所リレーエッセイ パートII 浜通り

15年ぶりに南相馬市に帰郷して2年目の秋を迎えます。実際に訪問リハビリテーションに携わり感じたことは、自宅にはその方のこれまでの歴史が詰まっており、人生の一部を垣間見られるということです。利用者様の中には、私が学生時代に利用していた商店の店主や通っていた学校の先生などがいらっしゃって、当時の話に花が咲く事もあります。

現在の南相馬市では、震災後に仮設住宅で生活されていた方も、避難解除後の自宅や復興公営住宅や新居に転居する方が多く、新たな環境の下、生活をスタートされています。その為、これまで築き上げてきたコミュニティをいかに維持できるかという課題もあります。今後、利用者様やその方を取り巻く周りの資源の活用など、よりよい選択肢が広げられるよう努めていきたいと思えます。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 齋藤 史織
浜通り訪問リハビリステーション

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介⑳ 鳥取県編

みなさんは鳥取県をご存知でしょうか？ゲゲゲの鬼太郎の作者水木しげると名探偵コナンの作者青山剛昌の故郷。鳥取砂丘に名峰大山。二十世紀梨に松葉ガニ。今は“星の見えやすさ”で全国1となり星取県としてPR中です！

北は日本海、南は中国山地があり訪問リハビリテーションでは市街地から中山間地まで在宅生活を送る利用者様のところへ伺います。また、鳥取を東部・中部・西部の3圏域に分けそれぞれが勉強会を開催しています。圏域ごとの特色や地域の課題があるため顔の見える環境で悩みを相談したり検討したり、アドバイスを受けられる仲間がいることは大切なことだと感じています。

最後に鳥取県でもPT・OT・STの3士会で連絡協議会（POST）を立ち上げ、医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・行政等少しずつ同じ方向を向いて協力体制を整えているところです。

鳥取県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士 山下 大輔
養和会 訪問看護ステーション仁風荘

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in 和歌山県

私は前の勤務先で一時期、訪問リハビリテーションに携わる機会がありました。元々担当していた方でしたが、当時は入院患者や外来患者へのリハビリしか行っておらず、不安半分で訪問したことを今でも覚えております。訪問リハビリテーションでは、病院とは違った家での顔が拝見でき、それまでは、患者様として認識していたのに、いざ始めてみると「同じ生活する者」と考え方が180度変わりました。訪問から帰ってきた時には、職場の同僚に「また行きたい！」と言うほど、訪問リハビリテーションの魅力に捕らわれていました。

和歌山は梅や蜜柑以外にも農業・漁業が盛んで生業としている高齢者も多くいます。そういった方々を支えられるよう今後も活動していきたいと思えます。

和歌山県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士 水田 達也
医療法人千徳会 桜ヶ丘病院

《お知らせ》

★平成29年度 第1回 訪問リハ地域ブロック連絡会議開催について

日 時：10月24日（火）18時～20時（2時間予定）

方 法：ウェブ会議（V-CUBE）

参加者：各エリア代表者（6名）、訪問リハ振興委員会、調査班、研修班、組織化班

※地域リーダーの方にはアンケートのご協力をお願いします。